

ご挨拶

鉄をコアとした魅力ある素材・ 皆様の負託にお応えします

このたび社長に就任いたしました三村でございます。これまで、副社長として、ユーザーはじめ各方面の皆様にお世話になって参りましたが、今後とも、宜しくお願い申し上げます。

鉄ビジネスの再生

今回当社は新しい「中期連結経営計画」を策定しました。新しい計画において最も大切なことは、言うまでもなく「鉄ビジネスの再生」です。鉄事業が当社の死命を決する厳しい状況の中で、私は鉄を取り巻く環境については、比較的明るい側面があると考えています。

その背景の一つは、欧州や北米はもとより、日本でもJFEの誕生や、当社と住金・神戸との資本と戦略面での提携、あるいは相次ぐ鉄鋼商社の再編など、数年前と比べて内外の鉄鋼業が安定的な構造に落ち着く方向にあることです。

もう一つは、中国をはじめ東アジアの鋼材マーケットが急速に拡大していることです。事実、近隣諸国のポスコ・CSC・宝山のいずれもが、過去最高の収益実績を更新しています。しかし、歴史を振り返ると、鉄の世界では需給タイトな状況が続くと、必ず新しい大型設備が建設されてきたことから、近い将来には需給が再び崩れる可能性は十分にあります。

私は、鉄事業において、能力増強のための大きな設備投資を実施することは全く考えておりません。むしろ、既存工程のネックラインを解消する投資、あるいは現状の設備のままで、一貫ベストを追求し、ユーザー各位のご要望に応えていく所存です。

新たな成長領域へ

新日鉄はこれまで鉄を中核として、鉄以外の分野で数々の新規事業に進出して参りました。しかし、企業が

ソリューションで

代表取締役社長 三村 明夫



順調な発展を遂げていくためには、枝分かれした各事業を選別していくことも重要であり、こうした観点から過去数年間、いろいろな事業の選別と強化を行ってきました。

こうした中で、現在残っている事業の各々は、極めて期待の高い分野の事業であり、各事業を新日鉄グループのポートフォリオの重要な一翼として、フローとストックの改善に努め、グループ全体の収益拡大と財務体質強化を図っていきます。

同時に、新日鉄グループ全体の成長を具体化させるための使命を強く認識し、蓄積してきた技術・ノウハウやインフラといった経営資源を十二分に活用することによって、新たな成長領域へと事業を拡大させていきます。

とりわけ、エンジニアリング、新素材、都市開発、システムソリューション、化学といった当社の多角化分野の中期計画を確実に達成し、新日鉄の複合経営をさらに前進させていきます。

グローバルサプライヤーとして

「新日鉄のビジョンは何か」というと、私は「鉄をコアとしたグローバル企業」となって、日本製造業の再生に貢献していくことだと思っています。

私たちは、グローバル企業へ成長を遂げるための手段として「アライアンスの展開」を選択し、これまで、ポスコ、アルセロールをはじめ内外鉄鋼メーカーとのアライアンスを結びました。私は今後とも、既存パートナーとのアライアンスの内容を充実させることによって、さらなる発展につなげて行きます。

一方、国内には依然としておよそ7000万トンの規模の需要が存在しており、また、新日鉄には国内に多くの素晴らしいカスタマーがあり、パートナーとも言える関係があります。さらに、当社の主要生産設備の殆どが国内に立地する中で、当社の基本は今後とも「国内立地型製造業」です。

このため、国内の需要家を大切にし、一緒に発展を遂げて行くことが大切であり、私たちのグローバル化の前提は、しっかりと国内基盤の上に立った展開です。この意味で、流通・加工分野にも強い根を伸ばし、しっかりとサービスを提供し続けることを通じて国内での基盤を固め、グローバルな発展に結びつきたいと考えています。

また、グローバル展開を図る上で、新しい商品や加工・利用技術、解析技術等を開発・導入し、多様化・高度化するユーザーニーズに対して適切なソリューションを提供して参ります。

そして、競争の本質である「企業の総合力」を高める上では、技術・研究開発の実力が鍵を握っています。特に、鉄鋼業におけるグローバル企業の要件は、設備・研究開発に積極的に資源投入を行っていること、そして鉄をコアビジネスとして位置づけ、世界マーケットに関心を持っていることです。

しかし、このような企業は新日鉄を含め、世界で10社もありません。今後も、独自の開発努力を続けることと併せて、他の企業が開発した技術の適切な評価を行い、アライアンス先の開発力も活用しながら、開発効率の向上を図り、グローバル企業としてユーザーに応え躍進したいと思っています。

お陰様で、当社の「新日鉄」というブランドは世界で高い評価と信頼をいただいております。

私は社長として、新日鉄が輝けるグローバル企業としての一層の躍進を遂げるよう、強固な国内基盤をつくり、国内外のアライアンスにより商品開発力を高めて「鉄ビジネスの再生」を図って参ります。

そして、鉄事業をコアとしてユーザーに対して魅力ある素材・ソリューションをお届けし、ユーザーとともに国際的な一貫競争力をもつグローバルサプライヤーとして、ユーザー各位および社会の負託に応えていきます。